

精華町立 川西小学校



所在地 京都府相楽郡精華町大字北稲八間小字畑ヶ田 1 5 番地 1

電話 0774-94-2024 郵便番号 619-0244

F A X 0774-94-4882

<http://www.kyoto-be.ne.jp/kawanisi-es/>

川西小学校 校歌

作詞 小山 莊太郎

作曲 中原 郁男



川西小学校校歌

作詞 小山 莊太郎
作曲 中原 郁男

一 清く流るる木津川の

西につどえる 村里の

ひとつとなりてとこしえに

いや榮えゆくわが村よ

二 豊にみゆる千町田の

みずほの波の中に立つ

このうるわしき学び舎に

わざをおさむるわが幸よ

1. 学校の沿革

- 昭 6. 10. 1 祝園・稲田・狛田村が合併し、川西村となる
7. 3. 31 川西尋常高等小学校を創立
10. 1 現在地に移転
16. 4. 1 国民学校令により川西国民学校となる
22. 4. 1 学制改革により川西村立川西小学校と改称
23. 7. 10 川西小学校PTA誕生
24. 5. 9 学校給食実施
26. 4. 1 川西・山田荘村が合併し、精華村立川西小学校と改称
9. 校舎一部増築
29. 2. 17 保健教育研究発表会開催
4. 府下健康教育研究会開催
8. 15 プール完成
30. 4. 1 町制施行、精華町立川西小学校と改称
8. 15 鉄筋校舎第1期工事8教室竣工
10. 11 第1期工事落成式挙句
31. 3. 6 昭和30年度健康優良児学校京都府特選受賞
11. 28 昭和31年度健康優良児学校京都府特選受賞
32. 6. 30 給食調理室竣工
8. 31 鉄筋校舎第2期工事11教室竣工
9. 1 完全給食実施
11. 28 昭和32年度健康優良児学校府特選受賞
33. 3. 14 第2期工事落成式挙句
6. 10 校舎落成、健康優良児学校表彰の記念事業として中庭完成
34. 5. 10 保健室移転整備、障害児学級教室改造完成、運動場体育施設整備
5. 12 障害児学級開設
11. 3 昭和34年度健康優良児学校全国特選受賞（文部省・朝日新聞社）
11. 8 昭和34年度健康優良児学校京都府特選受賞
35. 11. 4 京都府教育委員会指定理科学研究発表会開催
11. 21 学校給食文部大臣表彰受賞、青少年赤十字支部表彰受賞
38. 12. 24 学校緑化知事表彰受賞
40. 11. 18 視聴覚教育研究発表会開催
41. 10. 14 小学校教育課程社会科京都府大会会場校
44. 11. 18 京都府美術教育研究大会会場校
45. 10. 27 京都府小学校国語科研究大会開催
47. 3. 13 校舎第1期工事竣工
47. 6. 22 蒸気機関車（D51）設置
48. 3. 31 校舎第2期工事竣工
49. 5. 24 京都府小学校体育科研究大会開催

昭	51.	3.	31	プレハブ2教室増設、給食室改造
	53.	4.	1	児童増により2校に分離、精北小学校新設（川西小875人・精北小377人）
	56.	3.	10	給食室改築
	57.	7.		校庭拡張工事完成
		10.		創立50周年記念事業実施（校歌碑建立他）
	58.	2.		屋内体育館改築工事竣工
	59.	8.	18	プール増改築
	61.	8.	31	北校舎大規模改造第1期工事完了
	62.	8.	31	北校舎大規模改造第2期工事完了
	63.	10.	16	第43回国民体育大会成年女子ソフトボール開始式において集団演技に出演
平	4.	8.	31	南校舎大規模改造第1期工事完了
		9.	30	創立60周年記念事業実施（記念植樹・記念誌発行他）
	5.	8.	31	南校舎大規模改造第2期工事完了
	5～6			京都府小学校社会科研究協力校
	5～6			「指導方法の改善実施を行う学校」指定
	6.	8.	31	西校舎大規模改造第3期工事完了
		11.	17	京都府小学校社会科研究協力校
	9～10			平成9・10年度 京都府小中学校教育実践パイロット校（算数科）指定
	10.	12.	4	平成9・10年度 京都府小中学校教育実践パイロット校（算数科）発表
	11～12			平成11・12年度 文部省スクールカウンセラー活用調査研究委託事業
	14.4.1～平成14・15・16年度			京都府教育委員会「基礎学力充実実践研究校」指定
	15.4.1～平成15・16年度			京都府教育委員会「京都夢・未来」（人権教育）指定
	15.4.1～平成15・16年度			文部科学省初等中等局「人権教育研究校」指定
	16.11.	9		文部科学省初等中等局・京都府教育委員会研究指定「人権教育研究発表会」開催
	21.	7.		（新）校舎工事完成
	22.	3.	26	校舎完成・体育館改修・運動場改修工事竣工
	23.	4.		相楽地方通級指導教室西部分室開設
	24.	4.	1	特別支援学級増設（3学級に）
		6.	19	プール改修工事完了
		6.		普通教室ドライミスト、特別支援学級空調機器設置完了
		12.	10	創立80周年記念植樹（コブシ）
	27.	4.	1	単年度学級編成導入
		4.	1	特別支援学級増設（4学級に）
	29.	7.	18	創立85周年記念 WBC世界ライトフライ級チャンピオン拳四朗選手講演会
		9.	1	相楽地方通級指導教室に精華台教室が増設されたことに伴い、相楽地方通級指導教室川西教室となる
	30.	2.		情報教室のパソコンをタブレット型に更新
		4.	1	平成30年度「専門教育（英語）充実事業」指定
		9.		普通教室エアコン設置工事完了
		10.	15	平成30年度山城地方外国語教育授業指導力アップ研修開催
	31.	4.		平成31年度「スクールサポートスタッフ配置事業」指定
		4.		平成31年度「食に関する指導充実事業」実践中心校
令	3.	4.	1	特別支援学級増設（5学級に）

2. 学校教育方針

1. 経営方針

人権教育をすべての教育活動に適切に位置づけ、職員の使命と責任を自覚し、学習効果の高い学校経営を推進し、教育目標の達成を図る。

- (1) 安全で美しく、子どもたちが愛され、楽しく安心に通える学校
- (2) 学ぶ意欲、実践する喜びで、誰もがやりがいを感じられる学校
- (3) 保護者や地域社会と連携し・協働し、一体となって創り上げる学校
- (4) 教職員の率先垂範の下、人権文化に満ちた適切な受け答えや振る舞いがあふれる学校

2. 教育目標

「よりよく生きるために、自ら考え行動する児童の育成～確かな学力・豊かな心・健やかな体～」

3. めざす児童像

- (1) よく学び…深く考え、進んで学ぶ子ども（自ら学び自らを高め、未来を見通し、切り開く力）
- (2) 心豊かで…命、人、時間、物を大切にできる子ども（人・社会・自然とつながり共生できる力）
- (3) 元気な子…明るく元気に活動する子ども（強くしなやかな意志と健康でたくましく生きる力）

4. 重点目標

『来たときよりも笑顔で帰す』

- (1) 「できた」「わかった」「もっとやってみたい」と感じさせる授業の構築
(学力診断テストの正答率が、全国（府）平均正答率の1/2以下の割合を3%未満に)
- (2) 「一緒にいて楽しい」「一緒に活動したい」「もっと一緒にいたい」と感じさせる学級・学年・異年齢・全校集団作り
(自ら挨拶、適切な受け答え、チャイム行動、ごみやほこりを残さない清掃)
- (3) 「安全に過ごせた」「元気に過ごせた」「しっかり食べた」と感じさせる取組や活動の提供
(事故災害報告の発生率を6%未満に、ひと月の欠席日数3日を超える児童数を0に)

5. 指導の重点

- (1) 基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の充実
 - ① 一人一人の子どもを大切にし、子どもが愛されていると感じる学級経営を行う。
 - ア 教師の価値観を押し付けるような、感情的・恫喝的な叱責や指導から、子どもや保護者に共感し、笑顔を意識した語りかけや指導へと変換する。
 - イ 子どもが納得できるように、めりはりのある指導と説得を推し進める。
 - ウ 学校の方針に則って指導の一貫性を図るとともに、その日のことはその日のうちに対応や処理を完結させる。
 - エ 子どもと共に活動し、子ども目線・保護者目線で子どもと関わる。
 - オ 一部の子に権限を持たせることや、早い（速い）ことが良いことという認識から脱却するなど、一人一人の人権が守られているという気持ちを、子どもたちが持てるような学級にするために、教職員自身が人権認識を高める。
 - ② 基礎的・基本的な学習を重視するとともに、学ぶ意欲、思考力、表現力の育成に努め、個に応じた指導を推進する。
 - ア 学習指導要領の趣旨を踏まえた指導目標・指導内容を明確にし、計画的な指導を行うとともに、指導と評価の一体化を図り、児童の意欲につながる評価を充実させる。
 - イ 体験的な学習、問題解決的な学習などにより、主体的・対話的に学ぶ意欲を高揚させる。
 - ウ 発達段階に応じた学習習慣や学習規律を定着させる。
 - エ 家庭と連携した家庭学習に努めると共に、保護者に学習の補助をさせない。
 - オ 学力充実のためのICT機器を活用した授業改善を図る。
 - カ 教科担任制、専科教育を導入し、専門性を生かした授業改善を図る。
 - ③ 教職員の創造性を発揮するとともに、互いに学び合う開かれた学年・学級経営を推進する。
 - ア 教職員の協働により、児童一人一人を確かに理解し、個性を伸ばさせる。
 - イ 互いに学び高め合う人間関係を育成する。
 - ウ 保護者や地域に開かれ、連携・協働する学校を目指す。

- エ 子どもの様子や状況、活動の仕方等を取組の評価や指標とするなど、ルーブリック的な評価に努める。
- ④ 児童一人一人にとって障害のない教育的ニーズや保護者の思いを踏まえた、授業や環境のユニバーサルデザイン化と、障害に応じた合理的配慮の提供を行い、インクルーシブ教育を見据えた特別支援教育を推進する。
 - ア 特別支援学級や、通常の学級に在籍する発達に課題のある児童に対する個別の指導計画や支援計画を保護者とともに策定し、個に応じた指導を充実させるとともに指導方法を工夫改善する。
 - イ どの児童にとっても障害とならない学校環境、教室環境、学習環境の構築を目指す。
 - ウ 学び合い、育ち合う力、対話的に学ぶ力を育てるための交流及び共同学習を推進する。
 - エ 障がいのある人々や特別支援教育についての正しい理解と認識を深める指導を充実させる。
 - オ 各学校間や関係諸機関と連携し、相談を重視して就・修学の指導や進路指導を充実させる。
 - カ 川西小学校ことばの教室を活用する。
- (2) 人権尊重の精神を基盤とし、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進
 - ① 生命の尊厳と人権を尊重する態度、実践力を育てる教育の充実に努める。
 - ア 互いの個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する態度を育てる教育活動を推進する。
 - イ 生活の中での不合理や矛盾に気づき、主体的に解決しようとする実践的な態度を育成する。
 - ウ 人権教育年間指導計画に基づく計画的な人権教育を実践する。
 - ② 豊かな人間性を育成する教育の充実に努める。
 - ア 考える道徳を実践することにより、道徳的価値の自覚を深める道徳の時間を創造する。
 - イ 道徳的な実践の場として、学校以外の諸活動を活用し、人とのつながりを深める。
 - ウ ことばの力をはぐくみ、感性を磨き、想像力や表現力が身に付く読書活動を推進する。
 - ③ 望ましい集団活動を通して規範意識を高めるとともに、自主的、実践的な態度や自治的能力を育成する特別活動を推進する。
 - ア 児童の参加意欲や自己表現力を高める活動内容を工夫するとともに、児童が自分のことを自分で決めて実践して評価し、改善していこうとする力の育成に努める。
 - イ 継続的な取組の成果を重視した魅力のある活動を推進する。
 - ④ 児童の個性を認め、その良さを伸長する生徒指導を推進する。
 - ア 児童の生活実態の把握や内面理解による深い信頼関係に基づく好ましい人間関係を育成する。
 - イ 組織的な教育相談体制と教育相談機能を充実させる。(相楽地方通級指導教室西部教室川西教室との連携)
 - ウ 児童の健全育成を図るために家庭・地域社会・関係機関との連携を深める。
 - ⑤ 自他の生命を尊重し、自ら健康な生活を営む実践力を育成する健康安全教育を推進する。
 - ア 健康安全に関する総合的な認識を高めながら、心身ともに健康に生き抜く能力と実践力を育成する。
 - イ 身の回りの危険に気付き、正しく判断し、自ら安全な行動がとれる能力と実践力を育成する。
 - ウ 基礎体力の向上(回復)を図るため、運動することの楽しさや喜びを味わう体育・スポーツ活動を充実させる。
 - エ 保護者・地域社会・関係機関と連携した学校内外の安全確保と迅速な対応を徹底する。
 - オ 養護教諭、栄養教諭、給食調理員、PTAなどと連携し、食育の取組を充実させる。
 - カ 食物アレルギーについて、研修を深めるとともに、関係機関との連携を図りつつ、教職員で共通理解した上で、万全の体制で臨む。
 - キ 教職員の共通理解と保護者理解を基盤にした、生命の尊厳や人権尊重の認識を高める性教育を推進する。
- (3) 社会の変化に対応する教育の推進
 - ① 広い視野と豊かな人権感覚を持ち、我が国の文化と伝統を尊重するとともに、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育成する国際理解教育を推進する。
 - ア 国際社会に生きる日本人の育成という観点からの体験的な学習や課題学習を充実させる。

- イ 人材や地域教材の効果的な活用によるコミュニケーション能力の育成や言語・文化に対する理解を深める。
- ② 身近な環境に意欲的にかかわり、問題を見だし、考え判断し、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる態度や実践力を育成する環境教育の充実を図る。
 - ア 植物の栽培などの多様な体験活動を推進する。
 - イ 継続的な活動を通して環境保全への意識を高揚させる。
- ③ 情報機器に慣れ親しみ、身近な道具として適切に使いこなせる能力と情報を主体的に取捨選択し活用する力をはぐくみながら、基礎的な情報モラルやマナーを育成する情報教育を推進する。
 - ア 身近な道具として適切に使いこなせる能力と態度を育成する。
 - イ プライバシーの保護や著作権などの基本的な情報モラルやマナーを育成する。
 - ウ 情報モラルに関する教職員研修を充実させる。
 - エ プログラミング教育についての研修を深める。
 - オ 整備された情報通信環境や端末を積極的に活用し、個別最適な学び、創造性をはぐくむ学びを推進する。
- (4) 教職員の資質能力の向上
 - ① 教職員の使命と責任
 - 教育関係諸法令を遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、教職員評価制度の活用などを通して豊かな職見と専門性に基づく自己の資質能力の向上に努める。
 - ア 自己目標の管理と自己評価に基づく計画的・持続的な教育実践を追求する。
 - イ 教職員相互の連携・協働意欲に基づく組織としての学校の教育力の向上を目指す。
 - ウ 正しい人権認識を培い、研ぎ澄まされた人権感覚を磨く。
 - ② 教職員研修
 - 社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられるように努める。
 - ア 常に自己研鑽する意識を持つ。
 - イ 主体的・積極的に研修機会への参加を行う。
 - ウ ICT機器を活用した授業改善のための知識、技能の向上を図る。
- (5) 開かれた学校づくりの推進
 - ① 学校運営協議会での熟議、学校評価などを活用しながら家庭・地域社会との連携を推進し、保護者や地域住民の信頼を高める学校づくりに努める。
 - ア 人的・物的資源の開発と積極的に効果的な活用を行う。
 - イ ホームページや文書などの活用により積極的に教育活動の成果を発信する。
 - ウ アンケートなどを通して、保護者や地域住民の思いを受信する。
 - エ 「正確性・迅速性」に基づいた丁寧な保護者対応（説明責任）を行う。
 - オ 保護者や地域住民の力を教育活動に取り入れる。
 - カ 保護者の願いに寄り添い、家庭訪問や家庭連絡を密に行うと共に、個に応じた保護者対応に当たる。
 - キ 「さしすせそ」の保護者対応を励行する。「さ」＝先に動く、「し」＝真摯に受け止める、「す」＝素直に謝罪する、「せ」＝誠実な態度で接する、「そ」＝相談する。
 - ク 組織的な文書管理体制を確立する。
 - ② 学校運営協議会の設置、地域人材の発掘や育成に努めるとともに、コミュニティ・スクールについての理解を図る。
- (6) 校種間連携の充実
 - 児童の心身の発達や学習の連続性を重視した教育活動が展開できるよう、保幼小中の連携を図る。
 - ① 町内保育所、幼稚園や町教育支援委員会との連携による、より適切な児童支援を推進する。
 - ② 精華中学校との連携を強化し、9年間を見通した学習指導、特別支援教育、生徒指導、道德教育を展開する。
 - ③ 精華中学校コミュニティ協議会との連携の下、地域総がかりで取り組む教育活動を推進する。
 - ④ 精華中学校との交流や連携を推進する。（小中連携加配を活用した体力向上のための授業改善など）

(7) 働き方改革の推進

選択と集中で業務を行う。

- ① 何でもかんでも子どものためという大義名分を封印し、重点研究に係る内容のみ手厚くする。
- ② 前年削減を合言葉に、スクラップ&ビルドを合言葉に分掌の取組を精選する。
- ③ ワークシート等、プリント依存の授業からの脱却に努める。

3. 児 童 数（5月1日現在）

(1) 学年別・学級児童数

学年	特別支援学級 みずほ				1年			2年			3年		4年		5年			6年			合計
組	1	2	3	4	1	2	3	1	2	3	1	2	1	3	1	2	3	1	2	3	
男子	4	4	5	4	13	14	14	17	17	17	17	17	18	17	11	13	13	14	15	13	257
女子	1	0	0	0	11	12	12	10	10	10	17	17	14	13	12	12	11	11	11	12	196
小計	5	4	5	4	24	26	26	27	27	27	34	34	32	30	23	25	24	25	26	25	453
合計	18				76			81			68		62		72			76			453
家庭数	16				42			51			38		49		68			76			340

(2) 地域別児童数

学年	1年			2年			3年		4年		5年			6年			合計
地域/組	1	2	3	1	2	3	1	2	1	2	1	2	3	1	2	3	
菅井		2		1		1		2	1	1	1						9
植田	4	2	4	3	5	2	4	4	5	4	2	1		2	4	1	47
南	2	5	2	3	1	3	5	3	3	1		4	3	4	3	1	43
祝園西	7	5	5	8	5	7	3	6	8	5	9	9	10	6	7	4	104
北稲	2	1			1	1	2	3	2	7	2	1	3	1	1	2	29
谷		1				1	2	2		1	1	2	1		2		13
西北	1	1	1			2	1			2				1	1	1	11
東		1	1	3	3		2	1	1	2	1	2		1		1	19
中				1		3	2	1		1		1	2	2	3	1	17
中ノ町	1	1	3	1	1		3	2	2	2	1	2	1	1	1	2	24
下久保田	3		1		4	2	2	2	5	2		1	2	2	3	2	31
杉本	3	2			1		1	2	1	2	1			1		1	15
北ノ堂		3	1	2	3	1	4	5	5	1	3	1	3	2	1	6	41
馬淵	2	2	8	5	3	4	4	3	2	3	4	2	1	3		4	50
合計	25	26	26	27	27	27	35	36	35	34	25	26	26	26	26	26	453

4. 教職員一覧表（５月１日現在）

職 名	氏 名	担 任	校務分掌
校 長	米 澤 正 展		
教 頭	重 村 直 志		
主 幹 教 諭	柴 田 薫	児童支援加配	生徒指導 人権教育 地域連携 福祉教育
教 諭	森 紀 好	教 務	学力充実 異校種連携 健康教育 地域連携 キャリア教育
教 諭	清 田 志 帆	みずほ１組	特別支援教育 家庭科 教育相談 特別支援コーディネーター
教 諭	直 木 千 鶴	みずほ２組	国語科 音楽科 特別活動
教 諭	中 島 駿 介	みずほ３組	社会科 体育科 環境教育
教 諭	伊 庭 美 那 子	みずほ４組	図画工作科 図書館教育
教 諭	上 田 恵	１年１組	音楽科 福祉教育 人権教育
講 師	鈴木 あおい	１年２組	体育科 安全教育 図書館教育
教 諭	三 島 美 穂	１年３組	生活科 図画工作科 特別活動 異校種連携
教 諭	渡 邊 菜 摘	２年１組	外国語 生活科 給食教育 国際理解教育
講 師	長 尾 佳 紀	２年２組	算数科 キャリア教育
教 諭	磯 谷 み ち よ	２年３組	国語科 道徳科 図書館教育
教 諭	北 脇 な み	３年１組	外国語 教育相談 安全教育 特別活動
講 師	栗 原 宏 通	３年２組	体育科 理科 健康教育
教 諭	藤 井 晴 加	４年１組	国語科 図画工作科 特別活動 人権教育
教 諭	村 田 竜 司	４年２組	学力充実 算数科 体育科 情報教育 地域連携
教 諭	村 上 純	５年１組	特別支援教育 特別支援コーディネーター 理科 情報教育
教 諭	山 口 啓 明	５年２組	総合的な学習の時間 体育科 人権教育 情報教育
講 師	松 岡 清 花	５年３組	社会科 図画工作科 特別活動 キャリア教育
教 諭	伊 藤 真 人	６年１組	研究主任 学力充実 算数科 家庭科 異校種連携
教 諭	小 杉 麻 由 子	６年２組	道徳科 音楽 環境教育 キャリア教育
教 諭	今 里 慧 太	６年３組	総合的な学習の時間 特別活動 キャリア教育
教 諭	瓦 匡 代	ことばの教室	特別支援教育 特別支援コーディネーター 国語科 教育相談
教 諭	保 田 ま い	(育休)	
初任者指導教員	永 井 淳		
非常勤講師	小 林 優		主幹教諭補助 初任者後補充
まなび・生活アドバイザー	池 尻 智 恵 美		
非常勤講師	高 橋 希 美		教員業務支援員 心の居場所サポーター
養 護 教 諭	岩 井 祐 子		健康教育 教育相談
栄 養 教 諭	藤 岡 緑		家庭科 給食教育
事 務 職 員	池 水 裕 子		学校事務
町特別支援員	石 井 ひろみ		特別支援教育
町 介 助 員	嘉 部 友 美 子		特別支援教育
給食調理員	植 田 咲 子		給食調理
給食調理員	奥 村 澄 美		給食調理
学校図書館司書	梶 さ つ き		学校図書館運営
スクールカウンセラー	笹 田 世 都 子		
学 校 医	奥 和 美		
学校歯科医	藤 田 和 弘		
学校薬剤師	中 村 政 美		

5. 学校行事計画

※新型コロナウイルス感染症の影響により行事の延期又は中止をする場合があります。

	1 学 期	2 学 期	3 学 期
儀 式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文 化		相楽美術展鑑賞会	
健 康 安 全 体 育	発育測定 視力検査・聴力検査 専門医検診（内科・歯科・ 眼科・耳鼻科） 心電検診 検尿 避難訓練・交通安全教室 体力テスト・水泳指導 薬物乱用防止教室 陸上運動交歓記録会（6年）	発育測定 視力検査 検尿 避難訓練 運動会	発育測定
遠 足 集 団 宿 泊	修学旅行（6年） 林間学習（5年）	社会見学	
勤 労 生 産 奉 仕	大掃除 入学式準備（6年）	大掃除 運動会準備（5・6年） 体験入学	大掃除 卒業式準備（5年） 体験入学

6. P T A

(1) 本年度の活動目標

① テーマ 「こころ豊かで、たくましい子どもを育むP T A活動をすすめよう。」

② 活動方針

ア 会員相互の連帯感と親睦を深めるとともに、会員の教養を高める。

(ア) P T A各種活動を充実させる。

(イ) 親と子のふれあいを深め、子どもたちの学校外活動の充実を図る。

イ コロナ禍において、できることを無理なく進められるよう従来のP T A活動の内容を精選しながら、子どもの安心・安全に寄与する活動を工夫する。

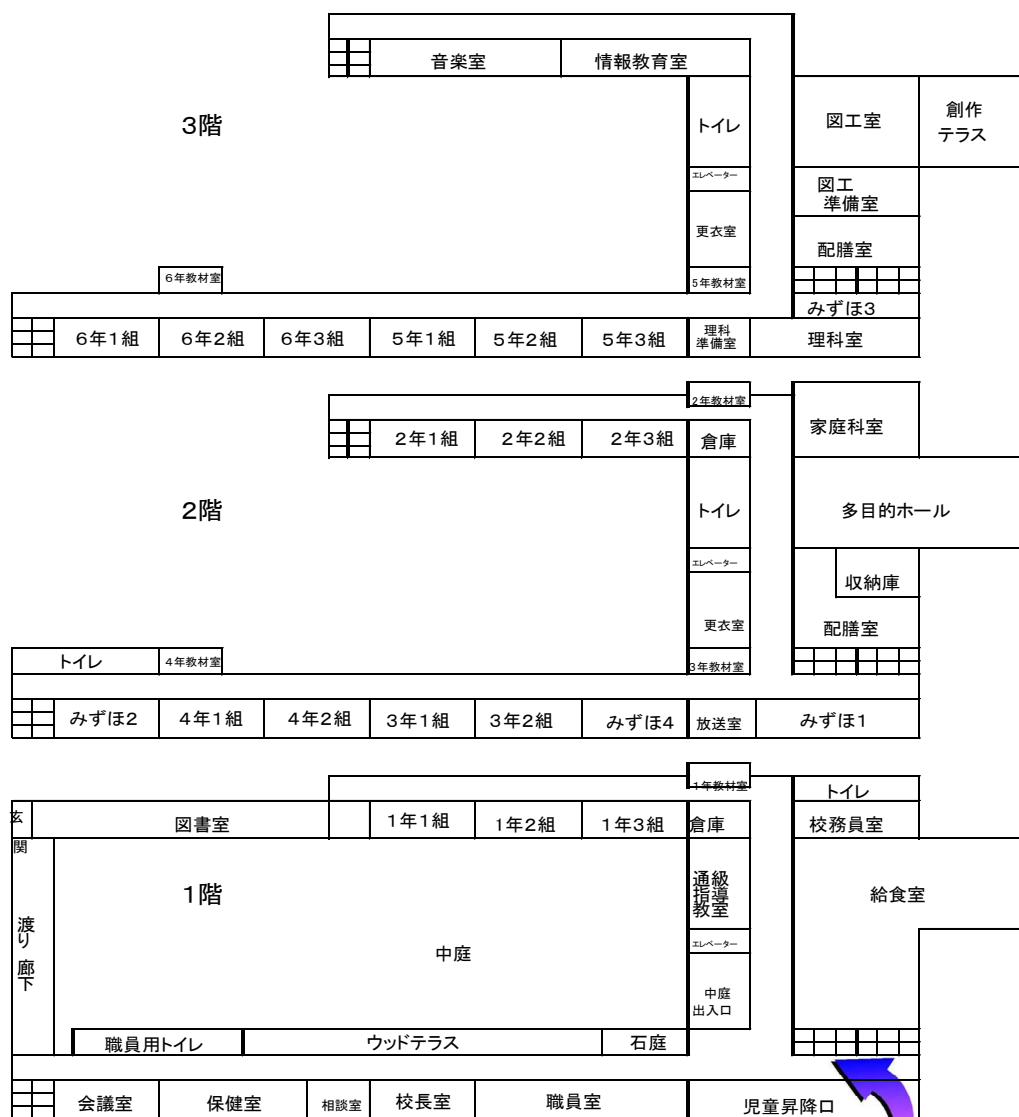
③ 重点活動

本年度についてもコロナウイルス感染予防を念頭に置き、流行の情勢を見極めながら活動内容を適宜工夫する。また、専門委員会を設けないため、本部役員が必要なフォローをする。

7. 学校運営協議会委員

氏 名			
喜	多	俊	夫
藪	田	清	子
村	上	栄	
小	関	利	恵
米	澤	正	展

8. 学校施設



校地用地	23,214 m ²
校舎面積	6,020 m ²
屋内運動場	1,044 m ²
運動場	9,982 m ²
プール	25m×6コース

